

# 川の市民情報

# 11

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM 事務局 URL <http://www.ktr.mnt.go.jp/keihin/>  
 TEL 045-503-4015 FAX 045-503-4092 E-MAIL keihia50@ktr.mlit.go.jp

## 多摩川 二子玉川地区 無堤部解消へ！

多摩川の左岸、東急田園都市線橋梁周辺から下流に向かって約800mの区間は洪水を防ぐ堤防がありません。昨年の台風9号の際には延長約130mにわたり土嚢を積んで浸水を防いだ区間であり、大きな洪水が発生した際には、多摩川下流部で最初に浸水してしまう可能性があります。

京浜河川事務所では11月にこの区間の築堤工事に着手しました。工事にあたっては、下記のとおり多摩川の自然環境に配慮したものとします。

- ・水際には、多摩川源流域の間伐材と現地の砂利を用いた木工沈床工を設置し、水生生物や魚等の生息に適した環境を創出します。
- ・水際には、現地の植生が復元できるよう配慮した護岸ブロックを使用します。
- ・現地に自生している桜やクロマツなどの樹木については、樹木医による診断を踏まえ、可能な限り地区の近くへ移植します。(倒木のおそれがあるような樹木については、安全のため伐採を予定しています。)
- ・工事で使用する土砂は、全て多摩川から採取したものを使用し、河川外からの土砂は持ち込まず、地区外からの外来種子の搬入を防止します。



完成後の堤防のイメージ  
 (樹木の移植先や住宅側の整備などの詳細については地域の皆さんと検討して行く予定です。)



平成19年台風9号時の水防活動の様子

## 多摩川源流の森林保全作業



を守ることにもつながります。4班に分かれ林業の達人の指導のもと間伐・枝

鈴木 研司 京浜河川事務所長以下17名の職員が、10月17日(金)～18日(土)の2日間、多摩川源流の小菅村を訪れ森林保全作業に参加しました。源流は流域の要であり、国土保全・環境保全の最前線に位置しており、私たちの暮らしに密接に関わっています。森林を守り、育てることは川や海

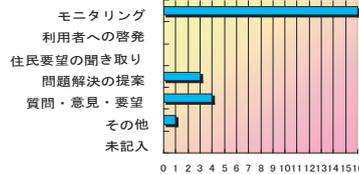
打ちを行いました。極力機械に頼らずにノコギリを使った2日間の作業は手大変でしたが、楽しく充実したものでした。

微力ながら森林保全に貢献できたのではないかと思います。

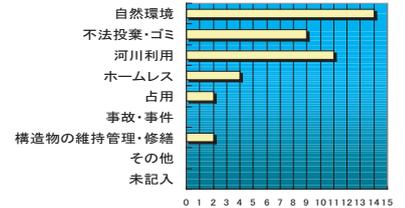
# RCM 活動報告 平成 20 年 10 月

管轄区間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	10人	1人	1件
鶴見川上流	11人	2人	7件
多摩川下流	16人	2人	2件
多摩川中流	19人	1人	1件
多摩川上流	16人	3人	4件
相模川	6人	1人	1件
浅川	12人	1人	2件
合計	90人	11人	18件

## 連絡内容



## 対象分野



平成 20 年 10 月は、合計 18 件の報告をいただきました。ありがとうございました。

## 【RCM 岩間 美代子 さんより】

多摩川左岸 関戸橋 付近

小学 4 年生の授業を関戸橋付近で実施しました。社会科や総合学習での水とゴミの学習にあわせたものです。生きものの扱いや安全面でのポイントをおさえて開始しましたが、子どもたちは普段は川を見ることが少ないので、川のもつ魅力にとっても感動していました。一緒に参加した保護者の方もとても喜んでいました。多摩川が少しずつ美しくなってきたので体験型の授業が増えてきたようです。しかし関戸橋付近の土手には、土とゴミの層があったり、土手でゴルフをしている方のものだと思われる沢山のゴルフボールやお菓子の袋などが落ちていて、子どもたちは驚いていました。持ち帰れるゴミは持ち帰りその後の学習に生かしますが、ゴミ問題は河川だけでなく、街中でも景観を損ねるだけでなく、安全面や自然への影響の面からもまだまだ大きな課題だと痛感しました。



## RCM 事務局より

事務所よこの鶴見川にもユリカモメがやってくる季節になりました。今年も今月初めから元気な姿を見せてくれています。京浜河川事務所では、先月号でお伝えした多摩川六郷地区の行政代執行もおかげさまで無事終了し、現在は履行検査の真っ最中です。

RCM 担当 関屋

## 【RCM 岡崎 学 さんより】

多摩川 左岸 54 ~ 55km 付近

カワラノギク自生地調査の報告です。

10 月は、カワラノギクの開花時期です。先日、NHK 多摩総局から開花状況についての問合せがありました。平成 6 年秋、首都圏ニュースで放映した小作堰下流にあった多摩川流域最大の自生地は、昨年 9 月の洪水で流出し、壊滅状態です。今回の調査で元の群生地から 50m ほど下流に 100 株ほどツボミをつけたものを見つけました。そのうちの一株に花が咲いていたので写真を送ります。

私たち「はむら自然友の会」が保護している羽村堰下橋際の育成地は、今年で 14 年目を迎えます。10 月 20 日頃 ~ 11 月上旬が見ごろになりそうです。また、永田橋上流の右岸、明治大学、倉本教授のカワラノギク研究地は、ススキをはじめ、各種の雑草に占拠され苦戦しているようですが、続けられるのかどうか気になります。

カワラノギクの学名は、多摩川にちなんで Tamagawaensis です。



カワラノギク

カワラニガハ



ツルヨシ

カワラノギク